発表番号　１３　　三豊市立山本小学校

１　研究主題

主体的に学び、考えを深め合える子どもの育成
～ＩＣＴの日常的・効果的な活用を通して～

２　研究の具体

本校の教育課題は、基礎学力の向上と特別支援教育の充実であり、学力の二極化と特別な支援を要する児童の増加が見られる。昨年度から、ICT を効果的に活用し、対話に重点を置いて取り組んできた。教員のほとんどが、積極的に授業の中で ICT 機器を活用し、子どもたちの活用スキルや学習意欲が向上した。しかし、授業中における話し合い活動やプレゼンテーション技能には課題があり、個別の学びと協働的な学びの一体化までには至っていない。

そこで、教員の ICT 活用研修の実施や市が導入している AI ドリルの配信機能等も活用し、授業の中で日常的かつ効果的に活用することで、主体的に学び、考えを深める子どもの育成を図ってきた。

ＩＣＴ活用の実践

２つの視点に基づいた３つの授業実践

○　授業づくりの２視点
- ICT 機器を授業の中で効果的に活用する「ICT 活用」
- 子どもたちが自ら話したいという思いをもてる「対話活動」

授業実践　３年　社会科

○　授業実践
- ３年　社会科
「はたらく人とわたしたちのくらし」
- 特別支援　生活単元・自立活動
「冬野菜を育ててみんなとつながろう」
- １年　生活科
「じぶんでチャレンジ大さくせん」

授業実践　特別支援
生活単元　自立活動

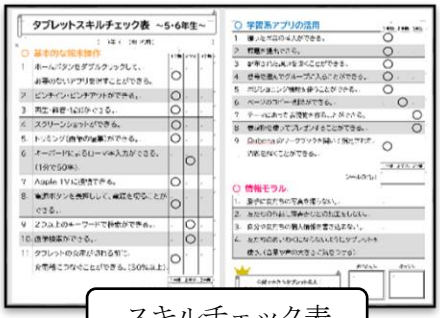
授業実践　１年　生活科

授業・ICT 活用指導スキルの向上

○ICT スキルチェック作成
- 低、中、高のレベル分け

○授業に生かす研修
- 市の ICT 支援員の派遣活用
- システム会社による講座

○１人１公開授業・模擬授業



スキルチェック表

職員研修

３　研究の検証及び改善の手立て

○　ICT を授業の中で効果的に活用することに重きを置いて取り組んできたため、授業の中でどう活用し、どのような力を身に付けるべきかを意識して実践することができた。また、発表や話し合いに ICT を活用し、比較する場面を増やしたことで、対話が深まる場面が増えてきた。

●　授業の振り返りや評価の場面での ICT 活用も増やし、学びの蓄積を進めていく中で、児童自らが単元を通して自分の成長や課題を見つけ、次の課題に生かしていけるよう進めていきたい。